

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成25年9月)

～消費増税を見込んだ動きなどで、DIは上昇～

- 景気ウォッチャー調査・9月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が6ヶ月ぶりの上昇、先行き判断も7ヶ月ぶりに上昇する形となった。
- 現状判断は、台風の影響で客足が減少したり、気温要因に売上が左右されるといった不安定な動きは続いているものの、高額品の販売好調が続いているのに加え、消費税率の引上げを見込んだ動きとして、住宅や家電の購入が増えたことがDIの上昇につながったとみられる。また、東京オリンピックの開催決定も消費マインドの押し上げ要因の一つになっている。
- 一方、先行き判断については、オリンピックへの期待感のほか、消費増税に伴う駆け込み需要への期待が幅広くみられる。住宅や乗用車、家電関連に加え、百貨店からの期待の声も非常に多い。一方、増税の決定が節約志向の強化につながるなどの懸念の声も少なくなく、10月以降の各種商品の値上げの動きもあいまって、警戒感を強める動きもみられる。
- いずれにしても、特に先行きについては消費税の増税に対する言及が非常に多く、駆け込み需要の動きと節約の動きによるプラスマイナスが、今後を大きく左右すると考えられる。

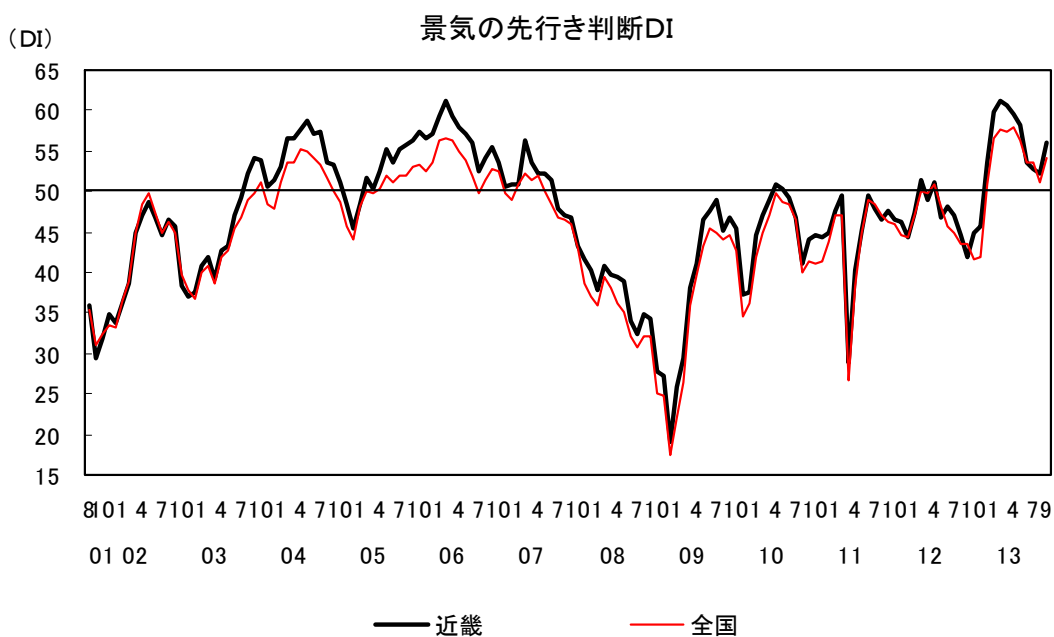
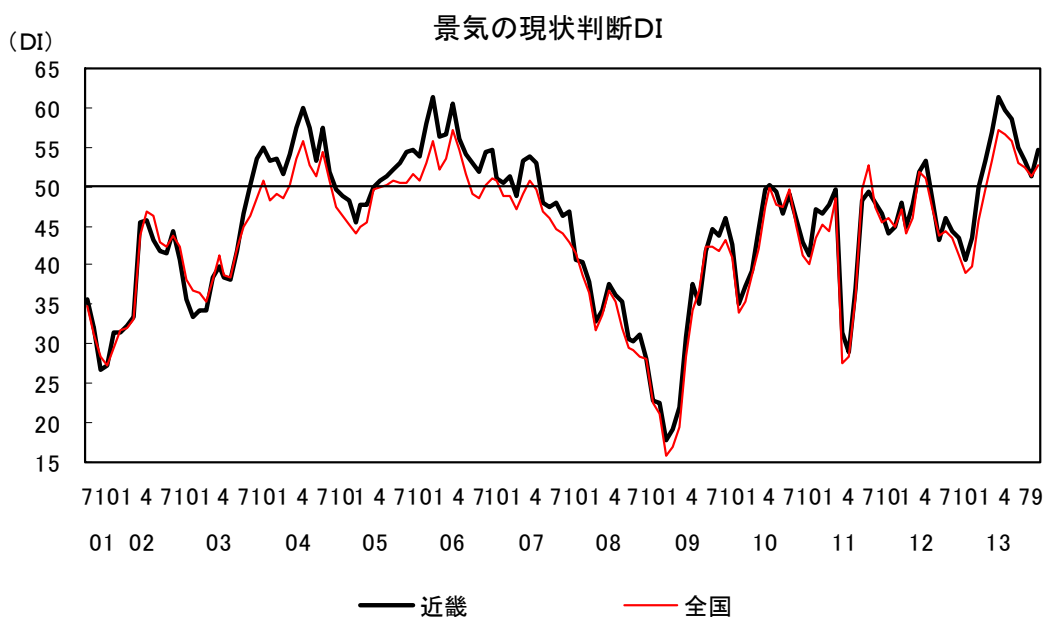
○「消費税増税」関連のコメント(現状)

家計動向関連	な っ て 良 く い る	住宅販売会社 (総務担当)	・消費税増税前の駆け込み需要か、3か月前、前年と比べても受注量が大きく増加しており、10月以降が心配である。
	な っ て 良 く い る	百貨店(商品 担当)	・秋物の売行きはまずまずで、定価品も特価品も売れている。消費税率が上がる前に、必要な物は買っておきたいという様子である。
		百貨店(売場 マネージャー)	・買上点数、客単価の両方が良くなっている。間際消費の多い地域であるが、今年は気温も下がりきらないのに先行消費がみられる。また、今回初めてお墓の購入相談会を行ったが、高額商材でもあるためか、消費税増税前の駆け込みとみられるリフォームや移設などの相談が多い。
		家電量販店 (経営者)	・消費税増税を控え、リフォーム案件、太陽光発電、大型家電の動きが良い。
		家電量販店 (店長)	・消費税増税を見越した動きで、冷蔵庫の販売台数は前年比で109.5%、販売額では106.9%となっている。洗濯機も販売台数が106.2%で、販売額が120.8%と、白物家電や調理家電は好調に推移している。
		通信会社(経 営者)	・建設業、不動産業を中心に、消費税増税に伴う駆け込み需要がみられる。
		パチンコ店 (店員)	・先月は消費税増税によるマイナスのイメージが強かったが、オリンピックの開催が決まってからは、景気が良くなり始めるのではないかと人が増えている。
	変 わ ら な い	旅行代理店 (広報担当)	・消費税率の8%への引上げが事実上決定し、客の消費意欲に変化がみられる。駆け込み需要で耐久消費財が買われる一方、旅行は後回しとなるため、やや悪い状況は変わらない。
		住宅販売会社 (経営者)	・建築業界の一部では、消費税増税前の駆け込み需要がみられるものの、不動産流通業界にはさほど影響が出ているようには感じない。

	変わらない	住宅販売会社 (経営者)	・消費税増税前の駆け込み需要は落ち着いてきているが、建築関係の原価が高止まりしている。
		住宅販売会社 (従業員)	・9月の新築マンション分譲は、しゅん工時期に関係なく消費税率が5%で契約できることもあり、非常に好調に推移している。
企業動向関連	なっている やや良くなる	電気機械器具 製造業(企画 担当)	・消費税増税前の駆け込み需要により、住宅(戸建、マンション)関連のLEDの受注の好調が継続している。
	変わらない	建設業(経営 者)	・消費税増税の関係で、9月中の契約、3月末までの工事完了という案件が増えている。一方、工事の依頼はあっても職人不足が深刻な状況である。
	なっている やや悪くなる	パルプ・紙・ 紙加工品製造 業(経営者)	・内需関連、特に食品会社が円安の影響で苦戦している。また、消費税増税の影響も懸念材料となってくる。
雇用関連	なっている やや良くなる	人材派遣会社 (役員)	・求人数は確実に増加傾向にある。消費税増税の方向性は長期的にみれば良い流れであり、景気回復への期待感も高まりつつある。短期的には景気の下支えとなる効果的な経済対策が打てるどうかポイントとなる。
		人材派遣会社 (支店長)	・比較的幅広い業種で求人が多く出てきている。特に、少額投資非課税制度の導入や消費税増税に向けた人材の需要などもあり、求人数が増えてきている。年末に向けて、やや上向き傾向となっている。

※「消費税増税」関連の先行きコメントを別のファイルに掲載しておりますので、そちらもあわせてご確認ください。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 11			12			13																		
		月 9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9												
現状判断	近畿	46.5	44.1	44.9	48.0	44.8	47.6	52.0	53.3	48.2	43.2	45.9	44.2	43.4	40.8	43.5	49.8	53.2	56.8	61.3	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6
	(全国)	45.3	45.9	45.0	47.0	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8
先行き判断	近畿	47.5	46.6	46.3	44.4	47.3	51.3	49.1	51.2	46.9	48.1	47.0	44.6	41.9	45.0	45.7	53.6	59.8	61.2	60.7	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9
	(全国)	46.4	45.9	44.7	44.4	47.1	50.1	49.7	50.9	48.1	45.7	44.9	43.6	43.5	41.7	41.9	51.0	56.5	57.7	57.5	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2